

## 修得目標 作業療法学科

		学科の修得目標		全学の修得目標	4要素
レベル1		レベル2			
A	幅広い教養を基に豊かな人間性と倫理観を身につけ、医療、保健、福祉、教育、職業などの現場に対応し得る技術やコミュニケーションを実践できる。	1	対象者のこころを理解し、協業的態度を実践できる	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる	態度・志向性
		2	対象者を取り巻く環境を理解し、診療行為を実践できる		知識・理解
		3	国際化、情報化に対応した診療行為を実践できる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
		4	海外の医療に関心を持ち、学修した知識を説明できる	海外との交流を積極的に行う姿勢を有する	態度・志向性
		5	医療、保健、福祉、教育、職業について学修した知識を説明できる	自分の得意分野を見つけ、個性として昇華させることができる	態度・志向性
		6	人文科学、社会科学、自然科学の知識を診療行為に役立てることができる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
		7	基礎医学に関する知識を説明できる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
		8	臨床医学に関する知識を説明できる		態度・志向性
		9	作業療法の現場で患者の安全を図ることができる		汎用的技能
		10	感染対策を実践できる		態度・志向性
		11	他者を取り巻く個人的、社会的状況を踏まえてコミュニケーションを図ることができる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
		12	場に応じた服装や髪形を選択でき、常に清潔感を保つことができる		汎用的技能
		13	言葉遣いや挨拶に気を配り、職場環境の向上に努めることができる	実社会の出来事について自ら学び、吸収することができる	汎用的技能
B	身心の諸機能における作業療法に関し、評価から治療に至る一連のプロセスを正しく理解し、効果的で安全な基本的療法を実践できる。	14	作業を中心とした評価の特性を説明できる		知識・理解
		15	作業を中心とした評価の実施手順を説明できる		知識・理解
		16	作業を中心とした評価を実践できる		汎用的技能
		17	作業を中心とした実践プロセスを説明できる		知識・理解
		18	身体障害領域の評価を実践し、目標設定ができる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
		19	精神障害領域の評価を実践し、目標設定ができる		汎用的技能
		20	発達障害領域の評価を実践し、目標設定ができる		汎用的技能
		21	老年障害領域の評価を実践し、目標設定ができる		汎用的技能
		22	身体障害領域の作業療法の計画立案ができる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
		23	精神障害領域の作業療法の計画立案ができる		統合的な学習経験と創造的思考力
		24	発達障害領域の作業療法の計画立案ができる		統合的な学習経験と創造的思考力
		25	老年障害領域の作業療法の計画立案ができる		統合的な学習経験と創造的思考力
26	身体障害領域の作業療法が実践できる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性		
27	精神障害領域の作業療法が実践できる		態度・志向性		
28	発達障害領域の作業療法が実践できる		態度・志向性		
29	老年障害領域の作業療法が実践できる		態度・志向性		
C	地域生活におけるライフステージに応じた文化や特性を正しく理解し、科学的根拠に基づいた効果的で安全な基本的療法を実践できる。	30	生活障害の理解のため、ICFモデルにおける必要な情報収集が実践できる	常に情報を収集し、それらを基に自分なりの考えを発信できる	汎用的技能
		31	生活障害の理解のため、ICFモデルにおける必要な情報を基に分析ができる		汎用的技能
		32	クライアントの主体性を保障した、生活行為の合意目標設定ができる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
		33	地域医療の成り立ちを説明できる		知識・理解
		34	地域作業療法関連施設におけるアプローチを検討し、実践できる	修得した知識・技術で自分の力として行動し、その結果に責任を持つ	態度・志向性



カリキュラムマップ 作業療法学科

科目区分	科目名	必修・ 選択 等区 分	配当 年次	【作業療法学科2020年度～2021年度入学生】ディプロマ・ポリシー		
				1	2	3
				幅広い教養を基に豊かな人間性と倫理観を身につけ、医療、保健、福祉、教育、職業などの現場に対応し得る技術やコミュニケーションを実践できる。	身の諸機能における作業療法に関し、評価から治療に至る一連のプロセスを正しく理解し、効果的で安全な基本的療法を実践できる。	地域生活におけるライフステージに応じた文化や特性を正しく理解し、科学的根拠に基づいた効果的で安全な基本的療法を実践できる。
教養分野	文章表現法	必修	1年	○		
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○		
	医療倫理学	必修	1年	○		
	心理学	選択	1年	○		
	職業教育	必修	1年	○		
	生涯教育	必修	1年	○		
	日本国憲法	選択	1年	○		
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○		
	経済のしくみ	選択	1年	○		
	環境科学	選択	1年	○		
	生物学	選択	1年	○		
	医療統計学	必修	1年	○		
	英語 I	必修	1年	○		
	英語 II	必修	1年	○		
	医用英語	選択	3年	○		
	韓国語と文化理解	選択	1年	○		
	中国語と文化理解	選択	1年	○		
	国際事情	自由	1年	○		
	医療情報処理演習 I	必修	1年	○		
	医療情報処理演習 II	必修	1年	○		
専門基礎分野	解剖学 I	必修	1年	○		
	解剖学 II	必修	1年	○		
	解剖学実習	必修	1年	○		
	生理学 I	必修	1年	○		
	生理学 II	必修	1年	○		
	生理学 III	必修	1年	○		
	基礎運動学	必修	1年	○		
	臨床運動学	必修	1年	○		
	人間発達学	必修	2年	○		
	臨床心理学	必修	1年	○		
	病理学	必修	2年	○		
	整形外科学	必修	2年	○		
	神経内科学	必修	2年	○		
	精神医学	必修	2年	○		
	内科学	必修	2年	○		
	小児科学	必修	2年	○		
	加齢と健康	必修	2年	○		
	リハビリテーションと薬	必修	2年	○		
	リハビリテーション医学	必修	2年	○		
	病気の診断と検査	必修	3年	○		
プレイセラピー概論	必修	1年	○			
リハビリテーション概論	必修	1年	○			
保健医療福祉概論	必修	1年	○			
チーム医療	必修	3年	○			
専門分野	作業療法学入門セミナー	必修	1年	○		
	作業療法概論	必修	1年	○		
	基礎作業学	必修	1年	○	○	
	作業科学	必修	1年	○	○	
	社会生活行為学概論	必修	2年			○
	基礎作業学実習	必修	1年	○	○	
	基礎作業療法学演習	必修	1年	○		
	作業療法管理学	必修	2年	○		
	基礎評価学概論	必修	2年	○	○	
	基礎評価学演習	必修	2年	○	○	
	画像評価学	必修	2年	○		
	身体機能評価学 I	必修	2年	○	○	
	身体機能評価学演習 I	必修	2年	○	○	
	身体機能評価学 II	必修	2年	○	○	
	身体機能評価学演習 II	必修	2年	○	○	
	精神機能評価学	必修	2年	○	○	
	精神機能評価学演習	必修	2年	○	○	
	社会生活行為評価学演習	必修	2年			○
	身体機能作業療法学 I	必修	3年		○	
	身体機能作業療法学演習 I	必修	3年		○	
	身体機能作業療法学 II	必修	3年		○	
	身体機能作業療法学演習 II	必修	3年		○	
	精神機能作業療法学	必修	3年		○	
	精神機能作業療法学演習	必修	3年		○	
	発達過程作業療法学	必修	3年		○	
	発達過程作業療法学演習	必修	3年		○	
	高齢期作業療法学	必修	3年		○	
	高齢期作業療法学演習	必修	3年		○	
	社会生活行為作業療法学	必修	3年	○		○
	社会生活行為作業療法学演習	必修	3年	○		○
	地域作業療法学	必修	3年	○		○
	地域作業療法学演習	必修	3年	○		○
	義肢装具学	必修	2年	○		
	総合作業療法学演習	必修	4年	○		
	身体機能作業療法学特論 I	選択	4年		○	
身体機能作業療法学特論 II	選択	4年		○		
精神機能作業療法学特論	選択	4年		○		
発達過程作業療法学特論	選択	4年		○		
高齢期作業療法学特論	選択	4年		○		
社会生活行為作業療法学特論	選択	4年		○	○	
臨床技能演習	必修	3年		○		
早期見学実習	必修	1年	○		○	
地域作業療法見学実習	必修	2年			○	
臨床実習 I	必修	2年	○		○	
臨床実習 II	必修	3年		○	○	
臨床実習 III	必修	4年		○	○	
卒業研究	選択	4年		○		

カリキュラムマップ 作業療法学科

科目区分	科目名	必修・ 選択等 区分	配当 年次	【作業療法学科2019年度入学生】ディプロマ・ポリシー	
				1	2
				作業療法に関し、評価から治療に至る一連のプロセスを正しく理解し、科学的根拠の、基づいた効果的な安全な基本的治療を実践できる。	作業量に関する専門的知識、技能を活用して、疾病や障害の予防、健康増進等の方策を述べることができる。
基礎分野	文章表現法	必修	1年	○	
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○	○
	医療倫理学	必修	1年	○	○
	心理学	選択	1年	○	○
	日本国憲法	選択	1年	○	
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○	○
	経済のしくみ	選択	1年	○	
	環境科学	選択	1年	○	○
	生物学	必修	1年	○	○
	医療統計学	必修	1年	○	○
	プロトコル概論	選択	1年	○	○
	英語Ⅰ	必修	1年	○	
	英語Ⅱ	必修	1年	○	
	医用英語	選択	3年	○	
	韓国語と文化理解	選択	1年	○	
中国語と文化理解	選択	1年	○		
国際事情	自由	1年	○		
医療情報処理演習Ⅰ	必修	1年	○	○	
医療情報処理演習Ⅱ	必修	1年	○	○	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	必修	1年	○	○
	解剖学Ⅱ	必修	1年	○	○
	解剖学実習	必修	1年	○	○
	生理学Ⅰ	必修	1年	○	○
	生理学Ⅱ	必修	1年	○	○
	生理学Ⅲ	必修	1年	○	○
	基礎運動学	必修	1年	○	○
	臨床運動学	必修	1年	○	○
	人間発達学	必修	2年	○	○
	臨床心理学	必修	1年	○	○
	病理学	必修	2年	○	○
	整形外科	必修	2年	○	○
	神経内科学	必修	2年	○	○
	精神医学	必修	2年	○	○
	内科学	必修	2年	○	○
	小児科学	必修	2年	○	○
	老年医学	必修	2年	○	○
	リハビリテーション医学	必修	2年	○	○
	病気の診断と検査	必修	3年	○	○
	リハビリテーション概論	必修	1年	○	○
保健医療福祉概論	必修	1年	○	○	
専門分野	作業療法学入門セミナー	必修	1年	○	○
	作業療法概論	必修	1年	○	○
	基礎作業学	必修	1年	○	○
	作業科学	必修	1年	○	○
	社会生活行為学概論	必修	2年	○	○
	基礎作業学実習	必修	1年	○	○
	基礎作業療法学演習	必修	1年	○	○
	基礎評価学概論	必修	2年	○	○
	基礎評価学演習	必修	2年	○	○
	身体機能評価学Ⅰ	必修	2年	○	○
	身体機能評価学演習Ⅰ	必修	2年	○	○
	身体機能評価学Ⅱ	必修	2年	○	○
	身体機能評価学演習Ⅱ	必修	2年	○	○
	精神機能評価学	必修	2年	○	○
	精神機能評価学演習	必修	2年	○	○
	社会生活行為評価学演習	必修	2年	○	○
	身体機能作業療法学Ⅰ	必修	3年	○	○
	身体機能作業療法学演習Ⅰ	必修	3年	○	○
	身体機能作業療法学Ⅱ	必修	3年	○	○
	身体機能作業療法学演習Ⅱ	必修	3年	○	○
	精神機能作業療法学	必修	3年	○	○
	精神機能作業療法学演習	必修	3年	○	○
	発達過程作業療法学	必修	3年	○	○
	発達過程作業療法学演習	必修	3年	○	○
	高齢期作業療法学	必修	3年	○	○
	高齢期作業療法学演習	必修	3年	○	○
	社会生活行為作業療法学	必修	3年	○	○
	社会生活行為作業療法学演習	必修	3年	○	○
	義肢装具学	必修	2年	○	○
	総合作業療法学	必修	4年	○	○
	身体機能作業療法学特論Ⅰ	選択	4年	○	○
	身体機能作業療法学特論Ⅱ	選択	4年	○	○
	精神機能作業療法学特論	選択	4年	○	○
	発達過程作業療法学特論	選択	4年	○	○
	高齢期作業療法学特論	選択	4年	○	○
社会生活行為作業療法学特論	選択	4年	○	○	
チーム医療	必修	3年	○	○	
臨床実習Ⅰ	必修	2年	○	○	
臨床実習Ⅱ	必修	3年	○	○	
臨床実習Ⅲ	必修	4年	○	○	
卒業研究	選択	4年	○	○	